

# 令和6年度こどもと保育園自己評価

目指すこどもの姿

## 生き生きと遊ぶこども 心も体も健康なこども

### 0歳児目標

- ・生活（歩く、食べる）にプラスになっていくような玩具や遊具を設置していく。「できる」という自信を持つものと、チャレンジする気持ちになれるもの段階をふんで難易度をかえていく。
- ・絵本や玩具、遊具などは幅広い種類のものに触れそれぞれの子が自分の好きなもの、興味をもつものを増やせるような援助をしていきたい。

### 振り返り

つかまり立ちや伝い歩きを誘引できるように、壁につける玩具やトンネル、ロノジーなどを用意した。子どもたちの成長に合わせて玩具を設置する高さを変えたり、レイアウトを変えたりしながら積極的に遊びやすいようにしていった。

玩具は口に入れて遊ぶことが多いため、清潔と安全性に気をつけながらそろえていった。つかむ、はなすという指先を使って遊ぶ玩具は大きさや素材をかえ、難易度をあげながら楽しめるようにし、成長につながるようにした。



### まとめ

- ・入園から1年間の間に心身の発達が大きく変化する0歳児クラスにおいては、生活も遊びも細やかな配慮が必要となり、個々に寄り添いながら育ちを援助していく中で目標を達成することができたと思う。
- ・1歳児の欲求を様々な活動を通して満たしてあげることで、情緒の安定と次の活動への意欲が芽生えてくることを感じた。欲求をしっかりとらえることの重要性を今後の保育に生かしていきたい。
- ・乳児から幼児への変わり目の難しい時期、2歳児の子どもたちの願いや葛藤を受け止め、応答的な関わりを保育士は常に心がけ子どもたちの心の育ちを大事にしてきた。子どもたちが、やりたいことをとことんやる、楽しい体験をする裏に保育士の根気強く愛情を込めた養護的な関わりがあることに注目したい。今後も継承していくべき保育士の姿が見られた一年であった。



各クラスごとに今年度の重点目標を立て、主体性の育ちの観点と環境を大事にする視点を取り入れて日々の保育の中で経過を追っていった。

### 1歳児目標

- ・子どもの「楽しい、面白い、何だろう？」という経験や気づきを大切にしていく。その一つとして感触遊びを年間のテーマとして取り組み、様々な素材に触れる機会を作る。
- ・日々の活動の中で、「体を動かしたい」という欲求を満たすことができるような遊びを考え実践し、静と動のメリハリも大切に保育をする。

### 振り返り

- ・感触遊びでは小麦粉粘土、タンボスタンプ（ゆび絵の具）など、する機会があった。初めの頃に比べると新しいことに対する期待感が表れている姿があり、「楽しいことが待っている」というわくわくした気持ちで参加していた。回数を重ねていくことにより、「やってみよう！」という気持ち生まれ、また、自分一人から友達と一緒にやる楽しさにもつながり、感触遊びを通して心の成長を感じ取ることができた。
- ・体を動かしたい、歩きたいという思いが強く、雨の日を活用して運動サーキットを多く取り入れ、室内を広く使いのびのびと体を動かして遊ぶ機会を作っていた。また、公園では保育士も一緒に、体を動かして遊べるように意識した。自然と子どもたちが斜面や段差の上り降りにも挑戦し、散歩先では体全体を使って遊ぶことができた。

### 2歳児目標

- ・わらべうたや歌を通して、ともだちと一緒に遊ぶと楽しいなと感じる体験をする。
- ・意欲の出る言葉かけを工夫し、出来ることを増やし、自信を持って生活できるようにしていく。

### 振り返り

- ・ちょっとした時間の中でもわらべうたをする事を心掛け、小さな集団から大きな集団で遊ぶ楽しさを感じることができたと思う。子ども達から「ちんちろりんをやりたい」「OOを歌いたい」等、子ども発信で活動でき、以前は恥ずかしがっていた子も少しずつ積極的になってきた。
- ・朝の会の集まりの時、様々な歌をピアノに合わせて歌ってきた。子ども達からのリクエストにきちんと応えることにより、元気に楽しく歌う姿が多く見られるようになった。
- ・排泄面は、個々の様子や発達段階をよく把握し、無理強いすることなく、進めてきた。根気強く繰り返すことで、成功する喜びや褒められる喜びを大いに感じられたと思う。生活習慣の自立は自分でやりたい気持ちを汲み、援助するタイミングを図りながら、少しずつ出来ることを増やしていった。



保育の質の向上を目指し、ドキュメンテーションを作成し子どもの姿を語り合い共感性を高めていった。各、年齢ごとに保育士が目じた場面で遊びの中や子ども同士、或いは保育士との関わりから育ちを見つめる機会となった。今後も日常のあそびに詰まった「子どもの育ち」をドキュメンテーションというツールを使って表現していきたい。保育により「心動く瞬間」を大事にしていきたいと思う。